

2025 年 5 月 15 日

今年で 31 回目「アフラックのバレンタイン献血」の実施結果について

アフラック生命保険株式会社（代表取締役社長：古出 眞敏）は、今年 2 月に当社販売代理店組織である「アフラック全国アソシエイツ会」と共同で「バレンタイン献血」を実施し、約 780 人が参加しましたので、お知らせします。

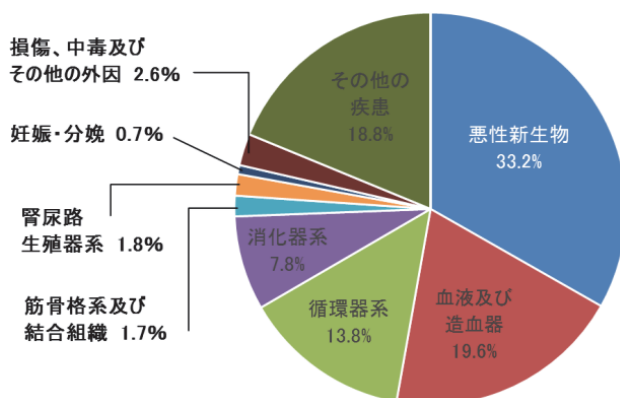
今年で 31 回目となる「アフラックのバレンタイン献血」は、1995 年の阪神・淡路大震災への支援活動としてスタートしたボランティア活動です。

冬期は、風邪やインフルエンザの流行で全国的に献血者が激減するため年間で最も血液が不足する時期であることから、バレンタインのある毎年 2 月に多くの人に「愛」を贈ろうという趣旨から「バレンタイン献血」と名付け、継続的に取り組んでいます。



▲ 献血の様子

< 疾病別輸血状況（不詳を除く） >



出典: 東京都保健医療局「令和 5 年東京都輸血状況調査集計結果(概要)」

当社はこれまで、「がん保険のパイオニア」として最も長くがんと向き合い、多くのがんと闘う方々を応援してきました。これからも独自の資源と専門性を活かして当社が向き合うべき社会的課題を解決し、社会と共有できる新たな価値を創造することで、ステークホルダーの皆様からの信頼に応えていきます。